

第2章 まちなか再生への基本方針

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P19
2. 都心軸の位置づけ、必要性・・・・・・・・・・・・P19
3. 都心軸のまちづくりの方向性、コンセプト・・・・P26
4. 中長期的な課題への提案・・・・・・・・・・・・P28

1. はじめに

新潟駅から古町地区に連なる中心市街地は、本市の“まちなか”の中でも中核的な業務・商業機能が集積する「都市の顔」に例えられる地域です。本来、まちなかは、そこにある様々な魅力や交流の中から新しい情報や文化が創造・発信されることで、さらに多くの人々やものが集まる好循環の持続が必要です。しかし、近年、いわゆる中心市街地の活力低下により、訪れる人や働く人が減り、さらに活気が失われる悪循環の連鎖が懸念されています。このような悪循環が「都市の顔」である中心市街地で発生すれば、本市の産業・経済、さらには住民生活にも影響が及ぶ大きな問題となります。

本資料では、新潟市にとって最も主要な“まちなか”である都心軸を対象に、将来のあるべき姿や求められる機能、中長期的な課題への取り組みを提案します。

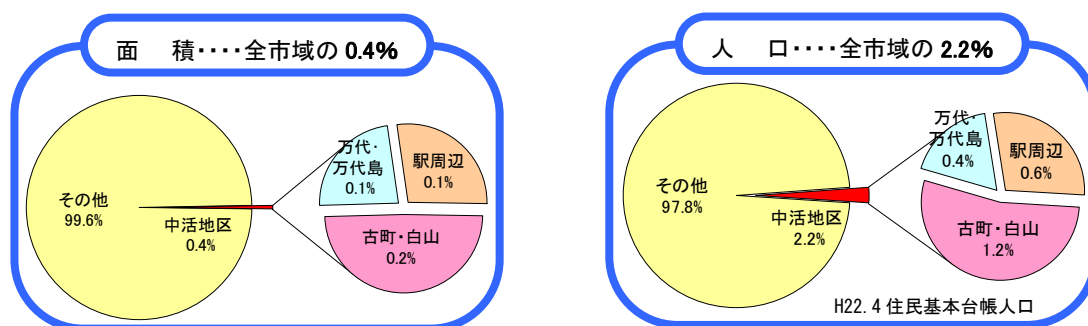
2. 都心軸の位置づけ、必要性

多くの都市インフラや機能が集積する都心軸は、新潟市の社会経済活動を国内外に結びつけ、来訪する人々に新潟のイメージを発信する「都市の顔」として、本市の発展に重要な役割を担ってきました。一方、これからの都市が活力を失うことなく持続的に発展しつづけるためには、新たな創造力を生み育て、外部から投資を呼び込む魅力と強い競争力が求められています。その中でも都心軸は、多様な交流を通じて地域独自の文化や産業を広く発信し、市域全体の活力をリードする“新たな成長エンジン”となるべく、明確な戦略のもとに関係者が総力を結集して、まちづくりに取り組む必要があります。

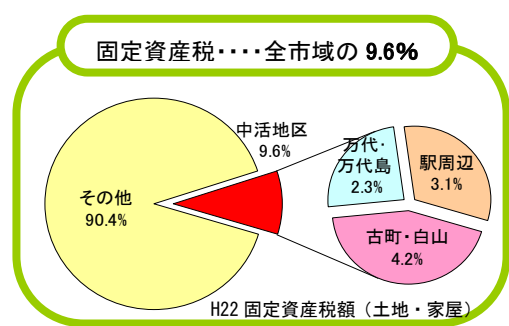
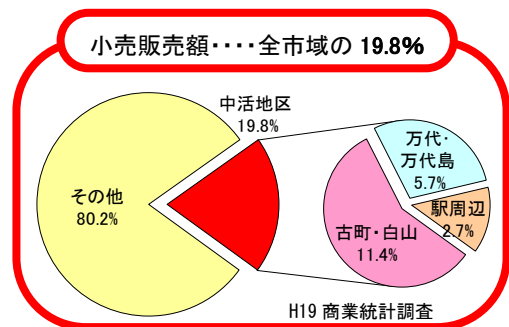
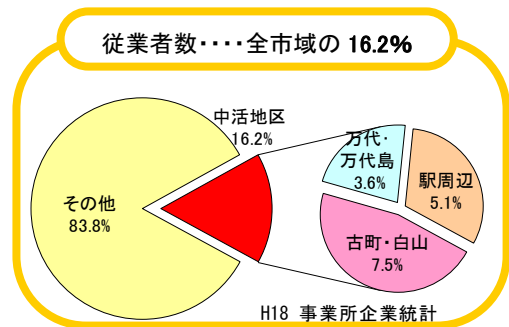
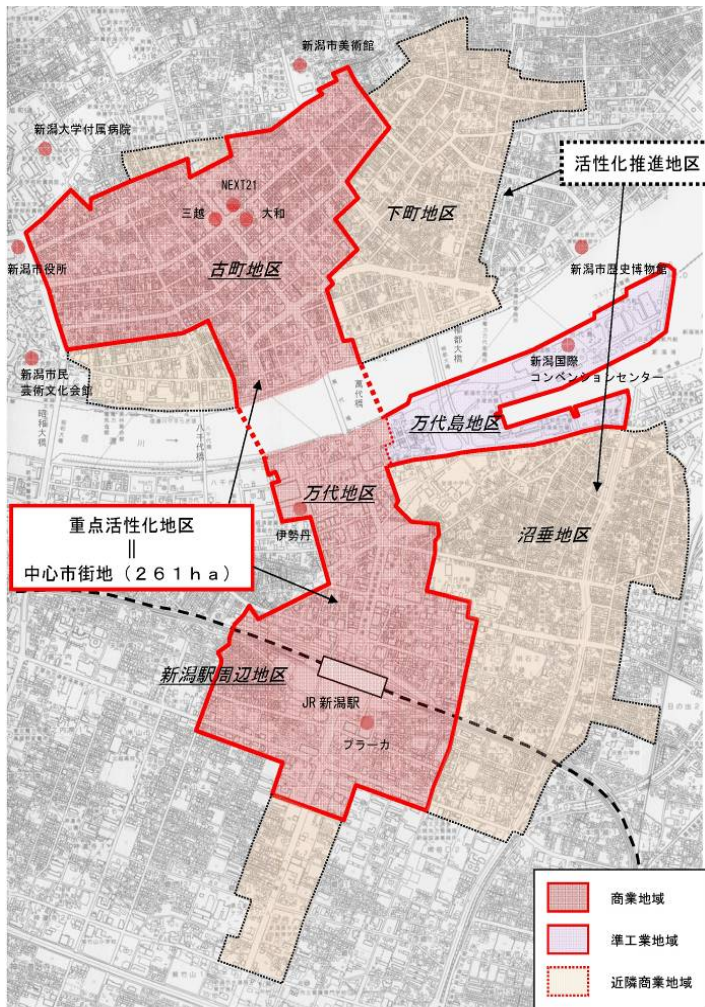
(1) 都心軸の役割

① 商業・業務機能が集積する都市の発展基盤

全市域に占める中心市街地の面積・人口の比率は、わずか 0.4%・2.2%しかありませんが、従業者数、小売販売額では、近年その比率は低下傾向にあるものの、依然として2割に迫る高い値を示しています。中でも本市の情報通信業や金融・保険業の従業者数の約半数が中心市街地で働いており、社会経済活動や都市の発展過程において、中心市街地が重要な役割を担っていることがわかります。



■ 中心市街地のシェア



主な産業別事業所・従業員数の全市シェア

- 情報通信業 事業所数：全市の 37% 従業員数：全市の 46%
- 金融・保険業 事業所数：全市の 35% 従業員数：全市の 63%
- 飲食店、宿泊業 事業所数：全市の 37% 従業員数：全市の 38%

② 時間軸の蓄積（湊町・近代にいがた発展の歴史が凝縮）された空間

新潟市は、信濃川・阿賀野川の河口に開かれた川湊とともに育ち、古くから日本中の物や情報が集まる北前船の最大の寄港地として発展してきました。中でも江戸時代の街建てが残る古町地区には、料亭や旧豪商の邸宅などが集積し、当時の花街文化、湊町文化の面影を色濃く残しています。また、萬代橋によって往時の新潟町と結ばれた新潟駅周辺や万代地区は、時代の変遷とともに、湿田から多くのビルが立ち並ぶ都会的な街並みに姿・形を変えてきました。

■ 都心軸周辺の歴史的資産



◆ 萬代橋

◆ 旧税関と堀と柳

◆ 旧斎藤家夏の別邸

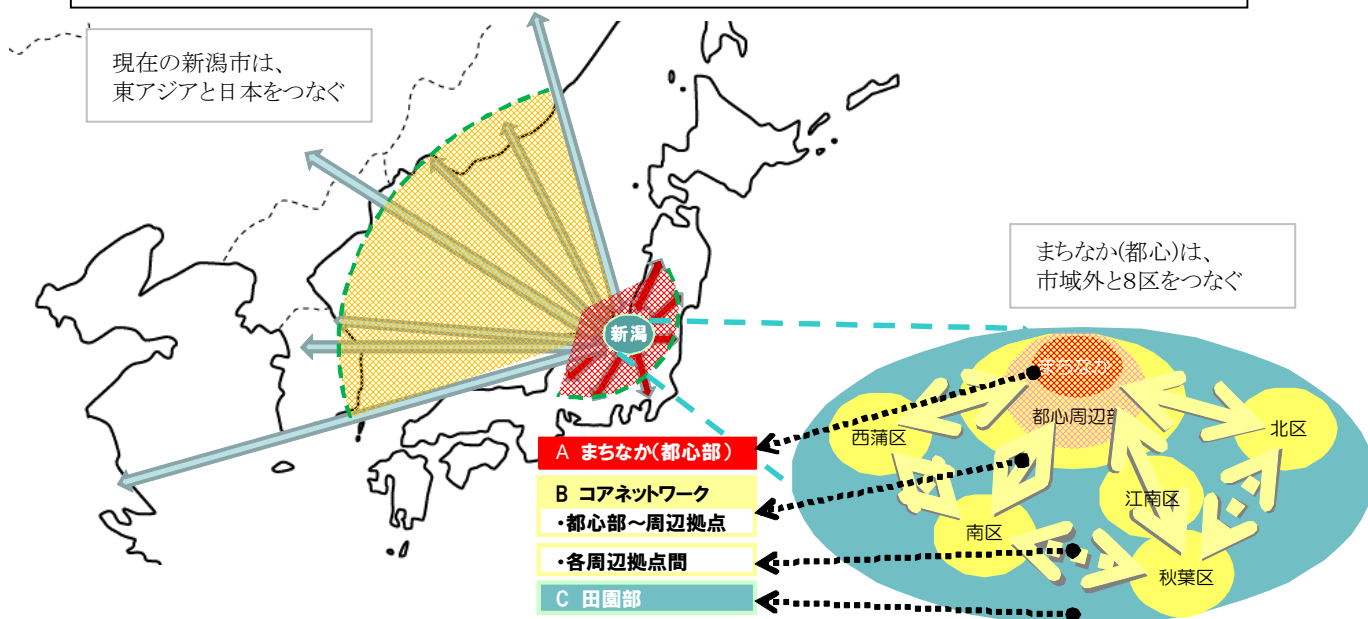
◆ 古町の料亭

③ 新潟市と国内外、また田園文化と都市文化を結ぶ“扇の要”

新潟市は、豊かな水辺空間、里山や田園などの自然環境と高速交通網や高次都市機能が調和・共存する田園型政令指定都市を目指しており、都心軸はその両者が交差し、新潟市と国内外とを結びつける重要な役割を担っています。

新潟のまちなか(都心軸)は域外と域内の『扇の要』

… かつて、近郷近在から「ヒト・モノ・コト・経済・情報(知恵)」が舟運、街道を介して新潟湊に集積した。さらに産物は、海路・陸路で域外に流通されて外貨外資を新潟港にもたらし、遠方よりの来訪者を受け入れてきた。一方、もたらされた外貨外資は、舟運・街道を通じて上流の近郷近在を潤し、湊町と田園とが共存共栄してきた。



(2) 都心軸におけるまちづくりの理念

田園文化都市における拠点型のまちなか創出

新潟市の郊外には先人たちが築いてきた水と土の暮らし文化が息づき、全国でも類をみない美田と日本の原風景が広がっています。その中で中心市街地は広大な越後平野の各地域と結びつき、人やものの交流拠点として機能を集積してきました。これら先人の努力を引き継ぎ、市域全体の成長をリードすべく、新潟市が持つ個性を活かしながら商業・業務・文化・行政といった都市機能の集積・再生を図り、人々を引き付ける魅力と活力ある拠点型のまちなかを創出します。

環境に配慮した持続可能な都市の実現

地球環境に対する関心が高まる中、限られた資源を大切に使い、安定的な社会経済活動のもと人々が健康で安全に、かつ快適に生活することのできる省資源・省エネルギー型の社会経済システムへの移行が求められています。そのためには、多くの人々が集まる都心軸にわかりやすく利用しやすい公共交通軸を導入し、市内各方面とつながる交通拠点施設としっかり結びつける必要があります。これにより、自動車に過度に依存することなく、中心市街地が持つ高度なサービス機能を広く市内全域で享受できる人に優しく持続可能なまちづくりの実現を目指します。

新潟の魅力を広く発信・演出する都市デザイン

新潟には、低湿地帯を美田に変えた先人たちの水と土の歴史や豊かな自然、伝統芸能、湊に育まれた料亭・芸妓文化が息づいています。これら掛け替えのない新潟の歴史的な資産を中心市街地が持つ情報発信機能やにぎわい空間を活用しながら、交流を通じて国内外に広く紹介し、地域と行政が一緒になって新潟ブランドという形まで高めていきます。

連携・協働によるまちづくり

よく街の個性は文化の薫に例えられます。先人のたゆまぬ努力の賜物である「街」は、人々の暮らしとともに成長・発展し、多くの人々に恩恵をもたらしてきました。この街という文化資産に新たな創造的価値を生み出し、次の世代に伝えることは街に関わる全ての人々の役目といえます。新潟を訪れる人、住む人に夢を与え、子ども達の未来に希望を与えるため、今、関係者がそれぞれの得意分野を活かし、連携・協働してまちづくりに取り組む必要があります。

(3) 都心軸の目指すべき姿

・・・萬代橋により結ばれる2極循環構造

人口減少・超高齢社会に入り、まちづくりも市街地の拡大に象徴される都市化社会から、環境への配慮や地域独自の「創造性と想像力」を重視する持続可能な社会づくりにシフトしています。

こうした中、本市の顔であり中核的な都市機能が集積する都心軸では、これまでのまちなかに期待される集客力に加え、日本海側の拠点都市にふさわしい風格や地域の独自性を明確に意識し、自覚的に洗練・活用していく取り組みが重要な「鍵」となります。

このような考えのもと、都心軸においては、単なる一地域の活性化でなく、以下に示す3つの方針により、住む人、訪れる人、ビジネスマンにとって魅力があり、多くの「交流」を通じ創造的な活動が継続して生まれるまちなかを目指し、中長期的対策に取り組めます。

【方針1】 萬代橋の両岸地区にしっかりとした賑わいを創り出す

信濃川を挟んだ両岸（両端）地区において、関係者の連携のもと、都心軸の両端を担うにふさわしい拠点性を創出します。

新潟駅周辺・東大通り地区、万代地区

・・・国内外を結ぶゲートウェイ

- 高いデザイン性と空の開放感を活かした駅前広場及び東大通の景観形成を図ることにより、訪れる人々に日本海側の拠点都市にふさわしい風格と機能を印象付ける街並みを創り出します。
- 県都の広域交流拠点地域として、国内外から訪れる人々が新潟の文化や歴史を知り、新しい新潟の創造性に触れる情報発信を積極的に行い、“行ってみたいまち新潟”の実現を目指します。
- 連続立体交差化に伴う駅南方面との連携をにらみ、駅周辺と万代地区を一体的に結び、回遊性が高く歩いて楽しい快適な歩行環境をつないで、新たな賑わいと活力の創出につなげます。
- やすらぎ堤に結ばれる歩行者空間や低未利用地のイベント・賑わい活用について、関係者によるまちづくりを促進することにより、新たなまちの魅力や地域の価値を高めることが期待されます。
- 将来、新たな交通システムが駅南方面へ延伸され、都心軸各地区と鳥屋野潟や環境と調和した文化・スポーツ交流施設との連携強化が図られることにより、互いの特徴を活かした賑わいの相乗効果が期待されます。

古町・桎谷小路地区

・・・歴史に裏付けられた湊町文化

- 都心軸である桎谷小路と通りによって結ばれる本町や上古町、花街といった新潟らしい個性を持った各地域の情報発信機能を強化し、観光的魅力を兼ね備えた回遊性のあるまちなかの創出を目指します。
- 湊町の歴史に育まれた花街や堀の歴史・文化を未来に引き継ぎ、貴重な建築物や江戸時代から続く街並みや路地を活かしたまちづくりを関係者の連携・協働により推進します。
- 個店や商店街の魅力を最大限に活かしながら、知識や企業・人材・資金をつなぎ合わせ、得られた成果をまちの賑わいや投資に反映できる地域主体の組織づくりが求められています。
- アートやマンガといった様々な創出活動を育成する環境づくりを進め、未来につながる新しいまちの活力を生み出します。

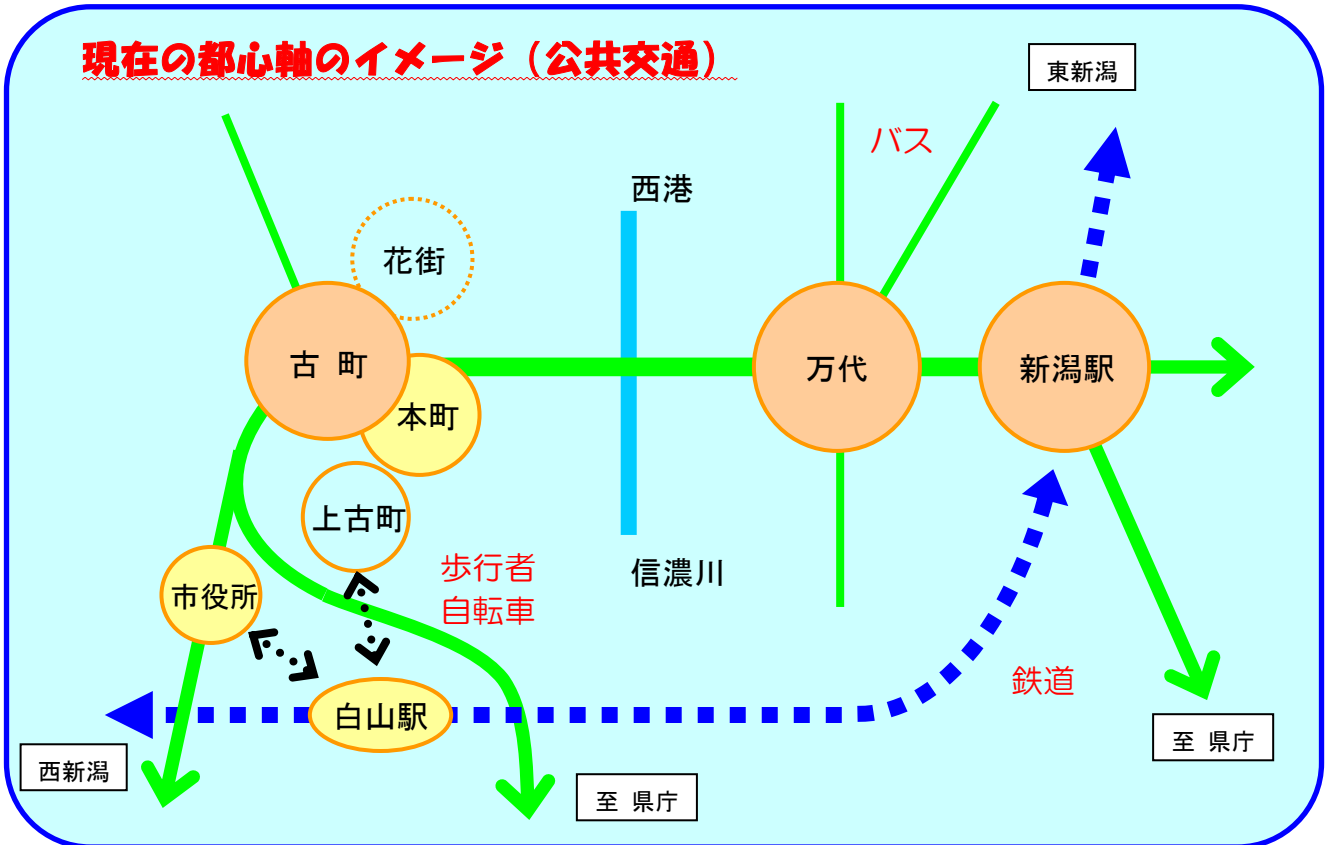
【方針2】二つの地区を萬代橋でしっかりと結びつける

- わかりやすく利用しやすい新たな交通システムを都心軸に導入し、市域全体の結びつきを強めることによって、まちなかが持つ魅力や高次な都市機能を広く享受できる暮らしやすさを実現します。
- 萬代橋を中心とする都心軸に、信濃川や港といった新潟の独自性や魅力を全国に発信できる都市イメージを育て上げ、ブランド力まで高めていきます。
- 信濃川に表を向けた都市デザイン、新たな河川の利用価値の創出、萬代橋周辺を背後地と一体的に結びつける環境づくりによって、競争でなく共生という都心軸の新たな発展の可能性が向上します。

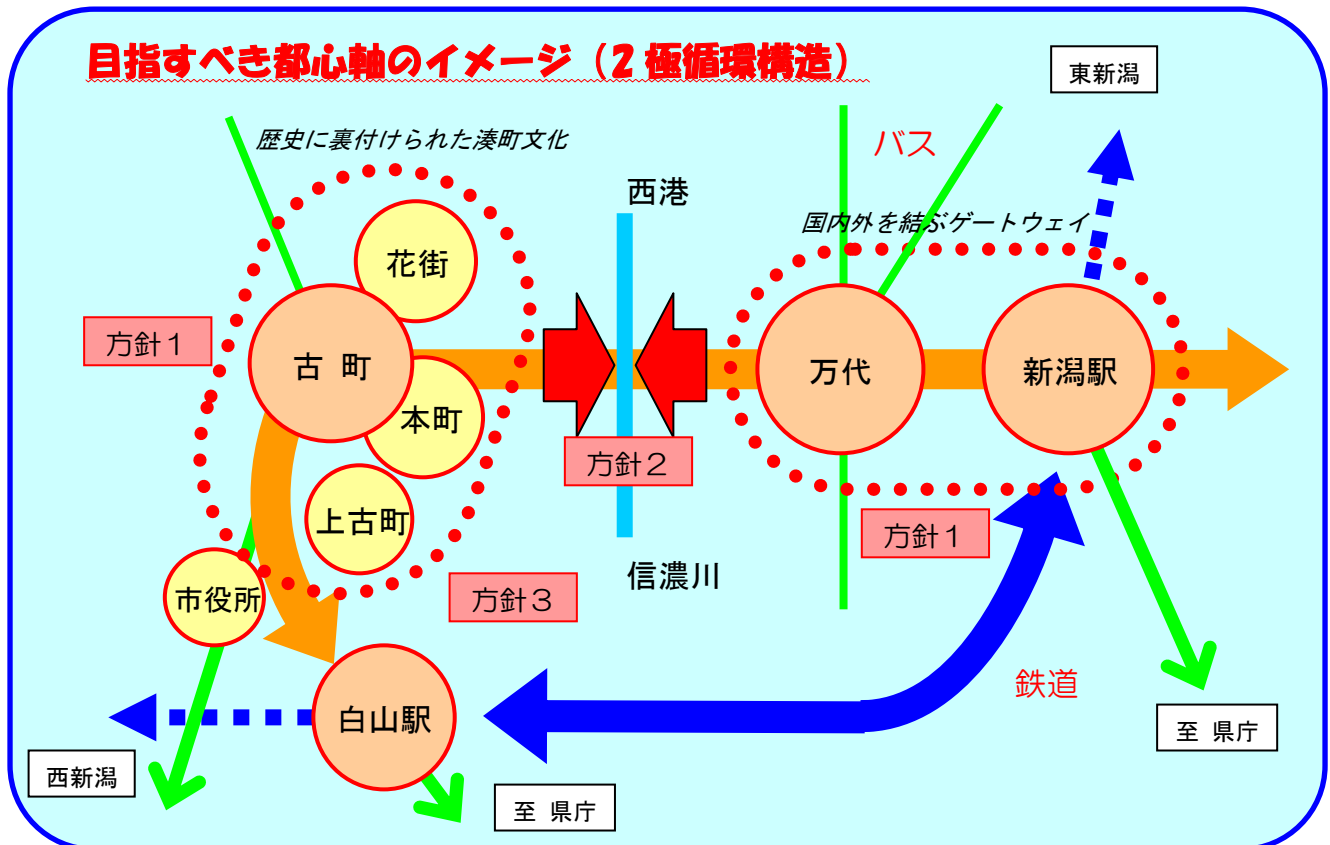
【方針3】都心軸に人や物の循環を生み出す流れを創る

- 新潟駅～古町～白山駅間に鉄道と連動した公共交通アクセスを提供し、白山駅を古町に直結する拠点駅に機能強化することによって、都心軸のまちづくりへの大きな波及効果が期待されます。
- 都心軸と市内各地を結ぶ既存バス路線の再編や、乗換え抵抗の無いきめ細かな利用サービスを確保することにより、都心軸周辺だけでなく、まちなかの恩恵を広く市民が享受できる都市構造を確立します。
- 都心軸周辺において、関係者との連携によりレンタサイクルやP&Rなど基幹公共交通軸と連動した取り組みを促進し、環境や交通弱者にやさしいまちなかの移動環境を構築します。

現在の都心軸のイメージ（公共交通）



目指すべき都心軸のイメージ（2極循環構造）



3. 都心軸のまちづくりの方向性、コンセプト

新潟市のまちなかの全体的なイメージ
 みなとまち（開港5港、旧税関庁舎、信濃川、日本海）
 新潟市を象徴するもの・風景（萬代橋、信濃川、日本海、夕日、県政記念館、みなとぴあ、砂丘、松林、小路、寺町）
 新潟の街のメインストリート（都心軸）・・・新潟駅～東大通り～万代～萬代橋～榎谷小路～古町

新潟都心軸の将来像
 湊町の歴史と文化が薫り、政令指定市としての風格と機能、賑わいを感じられる拠点地区

各地区の特性を踏まえた「まちなか機能の充実」

新潟駅周辺・東大通り

玄関口・出発地としての機能強化

新潟駅連続立体交差により景観・機能が大きく変化する。新潟の玄関口として風格ある景観の形成、情報発信機能の強化を図り、オフィス街としての魅力を向上させる。さらに新交通システムとの接続や港湾や空港とのアクセス向上により、国内外に繋がる新潟の拠点性を戦略的に発信する。

主な課題

新潟駅の連立、新たな交通に合わせた機能、景観づくり

万代

最新流行と情報・賑わい拠点のまち

全国展開のブランドなど大規模な商業施設が集積する街であり、公共交通ターミナルの機能を併せ持つ。新潟駅からの連続性、新たな業務ビル、信濃川や万代島地区に隣接する特性を活用し、地区内外との回遊性を高めることにより、まちなかに広がりを持った賑わいを創出する。

主な課題

主要建築物の更新期、駅との歩行アクセス、新たな交通への対応

萬代橋周辺

新潟のシンボル・賑わい空間

新潟市の時間軸が蓄積した歴史・景観のシンボル。万代橋からの眺望を活かし、多くの市民や来訪者が憩い・集う仕組みづくりと景観の保全を推進する。さらに古町・万代地区とやすらぎ堤を結ぶ歩行者動線を強化し、信濃川を中心とした都心軸の一体感を醸成する。

主な課題

やすらぎ堤、万代島とのアクセス、景観資源活用

古町・榎谷小路

新潟独自の歴史と文化創造のまち

湊町からつづく商業・飲食の中心地であり、江戸時代から続く町建てや花柳界、歴史的な建造物といった食文化が色濃く残る。また日本海や多くの公共文化施設が立地する砂丘地にも近く、これら条件を活用した観光振興、賑わい創出とともに、新しい創造力を育成する基盤づくりを進める。

主な課題

商業集積及び機能集積の低下、拠点性の低下

まちなか（都心）再生の方向性

誰もが使いやすく、分かりやすい「まちなか公共交通」

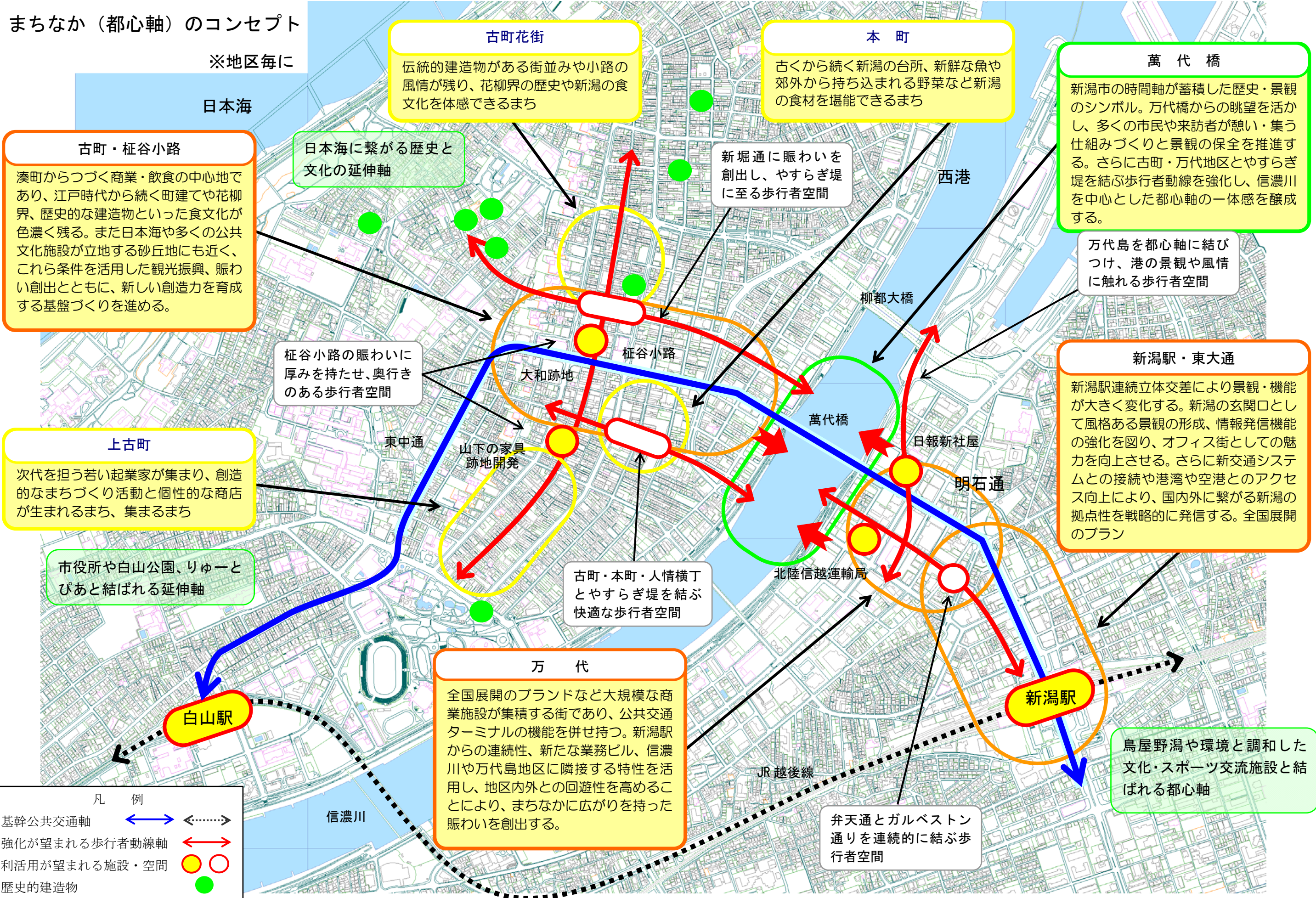
～JR新潟駅と白山駅を結び循環する公共交通軸～

歩いて楽しい、行きたくなる「まちなか空間デザイン」

～萬代橋を中心とした魅力的な都心軸の空間デザインの構築～

まちなか（都心軸）のコンセプト

※地区毎に



古町花街
伝統的建造物がある街並みや小路の風情が残り、花柳界の歴史や新潟の食文化を体感できるまち

本町
古くから続く新潟の台所、新鮮な魚や郊外から持ち込まれる野菜など新潟の食材を堪能できるまち

萬代橋
新潟市の時間軸が蓄積した歴史・景観のシンボル。万代橋からの眺望を活かし、多くの市民や来訪者が憩い・集う仕組みづくりと景観の保全を推進する。さらに古町・万代地区とやすらぎ堤を結ぶ歩行者動線を強化し、信濃川を中心とした都心軸の一体感を醸成する。
万代島を都心軸に結びつけ、港の景観や風情に触れる歩行者空間

古町・榎谷小路
湊町からつづく商業・飲食の中心地であり、江戸時代から続く町建てや花柳界、歴史的な建造物といった食文化が色濃く残る。また日本海や多くの公共文化施設が立地する砂丘地にも近く、これら条件を活用した観光振興、賑わい創出とともに、新しい創造力を育成する基盤づくりを進める。

日本海に繋がる歴史と文化の延伸軸

新堀通に賑わいを創出し、やすらぎ堤に至る歩行者空間

上古町
次代を担う若い起業家が集まり、創造的なまちづくり活動と個性的な商店が生まれるまち、集まるまち

榎谷小路の賑わいに厚みを持たせ、奥行きのある歩行者空間

新潟駅・東大通
新潟駅連続立体交差により景観・機能が大きく変化する。新潟の玄関口として風格ある景観の形成、情報発信機能の強化を図り、オフィス街としての魅力を向上させる。さらに新交通システムとの接続や港湾や空港とのアクセス向上により、国内外に繋がる新潟の拠点性を戦略的に発信する。全国展開のプラン

市役所や白山公園、リ्यूーとぴあと結ばれる延伸軸

古町・本町・人情横丁とやすらぎ堤を結ぶ快適な歩行者空間

万代
全国展開のブランドなど大規模な商業施設が集積する街であり、公共交通ターミナルの機能を併せ持つ。新潟駅からの連続性、新たな業務ビル、信濃川や万代島地区に隣接する特性を活用し、地区内外との回遊性を高めることにより、まちなかに広がりを持った賑わいを創出する。

鳥屋野潟や環境と調和した文化・スポーツ交流施設と結ばれる都心軸

- 凡 例
- 基幹公共交通軸 ←→ ←.....→
 - 強化が望まれる歩行者動線軸 ←→
 - 利活用が望まれる施設・空間 ● ○
 - 歴史的建造物 ●

4. 中長期的な課題への提案

1. 新潟ブランドイメージの構築・戦略展開

- 都市の印象、そして歴史・・・ 来訪者の五感に残すべき新潟市の魅力を考えるにあたり、港町として独自の文化を育み、まちが活況を呈していた過去の記憶がよみがえります。
- 新潟は古くから川湊として栄え、国内外との交流を通じて、その拠点性を高めてきました。
- 今、日本海交流時代という大きな転機を迎え、古き新潟の歴史や文化を活かしつつ、将来に先見性を持った拠点都市として世界に通じるブランドイメージを構築する取り組みが求められます。

具体的取り組みへの提案

(1) 新潟市・都心軸をアピールするためのブランド戦略の構築

- 検討の視点**
- 新旧の組み合わせ = 温故知新も重要な考え方
 - まちの個性とは？「歴史・文化・自然」を大切にすまちづくり
 - PRはターゲットを絞ってわかりやすく

(2) 湊町の歴史を踏まえ、100年先を見据えたまちづくり

- 検討の視点**
- 多様な世代・団体がまちづくりに関わる仕組みづくりを
 - 情報ネットワークの双方向性をまちづくりに活かす
 - 再生に総力を結集！企業の社会貢献（CRS）にも期待

2. 個性的で賑わいのある商業空間

- まちなかに賑わいを創り出すエンジン（原動力）は、そこに暮らし・働き・事業を営むすべての人々であり、関係者が総意による明確なコンセプトの元に、個々の魅力を高めていく努力が重要となります。

- また、「ヒト・モノ・コト・経済・情報」が集まり、新たな賑わいや交流の中から、さらに創造的な取り組みや活動が生まれ、産業や雇用の創出につながる好循環の連鎖が期待されます。

具体的取り組みへの提案

(1) 人々を引きつける工夫と魅力的なサービス

- 検討の視点**
- まちなかには人が集う空間、滞留させる工夫が必要
 - 歴史・文化は活かすべきまちの個性

(2) 未来の活力を担う新しい文化創造活動の支援

- 検討の視点**
- 若者の創造的な活動を応援する街には活気がある
 - 発想を転換し、これまでにない空間・施設の活用を！

3. 都心軸を結ぶ分かりやすく利用しやすい「まちなか公共交通」の構築

- 都心軸の沿線に集積する商業・業務・住居・文化・行政といった機能を結びつけ、まちなかの移動や交流を促進することにより、賑わいや活力を生み出す新しい公共交通軸の早期実現が求められます。
- さらに4つの都心核（古町、萬代橋周辺、万代、新潟駅）には、賑わいや憩い、防災といった広場的機能を充実させ、公共交通軸と連動した個性的な空間を創出することにより、都心全体の価値や魅力の底上げが期待されます。

具体的取り組みへの提案

(1) 利便性が高く都心各地区を機能的に結びつける新たな公共交通

- 検討の視点**
- まちのイメージを発信し、乗りたくなるデザインを！
 - 乗降施設やターミナルの活用により拠点性・利便性をアップ
 - 市民が公共交通を身近に感じ支える仕組みづくり

(2) 都心に行きやすくストレスを感じさせない公共交通利用環境

- 検討の視点
- 交通政策と土地利用・施設立地は車の両輪
 - 結節点や駅に集客施設を配置して需要の喚起を
 - 駅は出発点、地域の情報をワンストップで提供しまちなかへ誘導

(3) 都心軸と白山駅を接続し、まちなかに循環を生み出す公共交通軸

- 検討の視点
- 市域全体と都心軸の結びつきを強化する公共交通システム
 - 駅が持つ拠点性を周辺のまちづくりに活用

4. 湊町文化・温故知新・行ってみたいまち新潟

- 日本海交易で栄えた湊町新潟と豊かな恵みをもたらしてきた蒲原平野、そして両地区を結び、近代新潟の発展の礎を築いた萬代橋。
- かつての栄華は町屋や小路、そして花街に色濃く残り、「まちあるき観光」に無くてはならない彩りを添えています。
- このような新潟独自の伝統を守り育て、貴重な財産を未来へと継承していくことにより、市民の誇りと、来訪者の満足につなげていくことが重要です。

具体的取り組みへの提案

(1) 湊町新潟が誇る花街文化を活かしたまちづくり

- 検討の視点
- 湊町文化は未来に引き継ぐべき貴重な財産
 - 全国に誇れる歴史と文化をまちづくりに活かさない手はない

(2) 新潟の歴史文化を体感するまちあるき観光の確立

- 検討の視点
- まち歩きは今や全国的な潮流
 - 歩きたくなる仕掛けと工夫により選ばれるコースづくりを

(3) 信濃川・萬代橋を活かした親水空間整備

- 検討の視点
- 萬代橋は都心軸・自然軸・時間軸の結節点
 - 眺めるだけでなく遊び・集い・憩う都会のオアシスを
 - 徒歩や自転車に着目した健幸まちづくりをキーワードに

5. 新潟市の玄関口にふさわしい風格と機能を兼ね備えた街並みの創出

- 新潟への来訪者が最も多く降り立つ新潟駅・東大通り地区はいわば新潟市の表玄関であり、交流人口の結節点として国際的な都市としての風格、様々な情報を提供・紹介する役割が期待されます。
- また、新潟駅に結ばれる萬代橋や古町地区には、湊町にいがたの原点である港や歴史に裏付けられた街並みや文化が残されています。
- これら新潟の魅力を街並みから発信し、期待感、わくわく感、気品などを感じさせる空間デザインを視覚的、機能的に創り上げていく取り組みを進めていく必要があります。

具体的取り組みへの提案

(1) 都心軸における良好な街並み形成と屋外広告物の誘導

- 検討の視点**
- 訪れる人々に期待や憧れを抱かせる街並みとは
 - 全国に誇れる新潟独自のデザインとイメージ発信

(2) 都心軸の快適な歩行環境の整備

- 検討の視点**
- 都心軸を歩いて移動したくなる仕掛けづくり
 - 冬でも快適に移動できる歩道空間を

6. 訪れる人・住む人に安心・安全なまちなか整備とまちなか居住推進

- 都市づくりやまちづくりの重要なキーワードとして、近年「安心・安全」が注目され、先の東日本大震災以降、特に「防災」への関心が高まりを見せています。
- また、まちなかの人口回復は、コミュニティーの再生や賑わい創出に不可欠であり、まちなか居住の推進により、既存の都市施設を活かすエネルギー消費の少ないコンパクトなまちの実現が期待されます。
- さらに、あらゆる人々にとってユニバーサルで健幸な、そして環境に優しい都心空間を作り出していく必要があります。

具体的取り組みへの提案

(1) 連携協働による安心・安全なまちづくり

- 検討の視点
- 超高齢社会にバリアフリーは絶対必要条件
 - 安心安全を皆で考え、災害に強い都心居住を

(2) 歩行者・自転車にやさしい健康的な都市環境整備

- 検討の視点
- 健幸・環境都市は重要な検討テーマ
 - 歩きや自転車移動が楽しくなる街のデザインを

(3) 様々なライフスタイルに対応した都心居住の推進

- 検討の視点
- 人口減少社会に入り見直される“まちなか居住”
 - 新しい居住者を呼び込み、地域コミュニティの維持発展を
 - 空家を創造的に活用してまちに新たな活気を呼び起こす